



えんどう ひろし
遠藤 浩 議員

農業者

「兼業農家の育成」を！

町長／二層の農業構造を目指す

遠藤：農業者の確保について、農業経営のリスクを軽減し、長期的な農業経営が可能となる「兼業農家の育成」をしつかり支援することが、町内の農業者を確保する事に繋がると考えますが、町長の考えを伺います。

町長：農業者の確保については、専業農家だけでなく、兼業農家も地域農業を支える存在として、守っていくべきと考えています。農業経営の安定化を図り、離農しないよう



農業振興

町内に「低温倉庫」の建設を！

町長／建設実現に向けた協議を進める

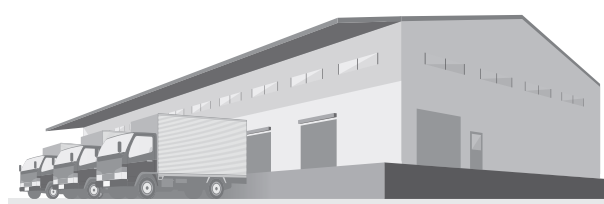
遠藤：農業振興の展望について、「多面的機能支払事業」はどのような活動組織の支援なのか伺います。

町長：多面的機能支払事業については、担い手に集中する農地・農道・水路等の保全管理など地域住民や農業者による共同活動について、広域協定を締結した26集落における相互の労力補完や広域的な活動を支援しています。

遠藤：生産組合設立の進捗状況について、伺います。

町長：生産組合の設立については、現在、設立には至っておりません。お米については、認定農業協議会の座談会を予定しており、品目、

町長：低温倉庫の建設にあたっては、補助事業である福島再生加速化交付金被災地域農業復興総合支援事業（農業用施設整備等）の活用を含め、生産者及び関係機関等と建設実現に向けた協議を進めてまいります。



農業施設となる「低温倉庫」イメージ図

防災の駅整備事業

今後の展望は？

町長／住民懇談会等で直接お伝えしたい

遠藤：土砂採取区域森林機能回復事業の完了について、町のかじ取りを担う町長の立場から、この事業施策について総括的な受け止めを伺います。

町長：「防災拠点・道の駅ひろの整備事業」、「広野町防災の駅整備事業」

事業」に関して、平成26年度から令和7年度までの間に、委託費工事費、用地費などに約10億5千万円もの事業費を要しています。これまでの経緯、町の財政状況等を踏まえた議員の皆さまのご意見、ご見解を聞かせていただき、最終的な判断を行った上で、住民懇談会等において町民の皆様にご直接お伝えしたいと考えております。

太陽光発電

災害時は有用か？

町長／体制構築を進める

渡邊：令和3年に「広野町ゼロカーボンシティ宣言」を行い、広野町地球温暖化対策実行計画を策定しました。計画の進行管理は、広野町ホームページで公表することになっていますが、今までの公表件数をお伺いします。

町長：目標達成状況の公表に至っていない現状にあります。成果の公表がこれまで一度も行われなかったことは、ゼロカーボンシティを



わたなべ ただよし
渡邊 忠義 議員



中央体育館協の太陽光発電設備

町長：現在は、昼間の時間帯に体育館で必要となる電力の相当部分を太陽光発電によって賄うことが可能と考えています。

新たに冷暖房設備を導入した場合は、必要となる電力量が増加するため、蓄電池のみで電力を供給できる時間は短くなります。

今後、冷暖房設備の具体的な導入計画等を踏まえ、災害時に必要となる電力量や太陽光発電量、蓄電池の運用方法等について詳細な検証を行い、避難所として必要な機能を可能な限り長時間維持できる電力供給体制の構築を進めていきます。

社会福祉協議会

新会長起用の意図は？

町長／自主的な活動が可能に

渡邊：町は、「広野町地域福祉計画」を策定されていますが、社会福祉協議会は「地域福祉活動計画」は策定しているのかお伺いします。

町長：現時点で社会福祉協議会は「地域福祉活動計画」の策定はされておりませんが、今後、地域福祉の推進を目的とする実践的な活動・行動計画と位置づけられている「地域福祉活動計画」の策定について協議してまいります。

渡邊：計画の進行管理で、地域福祉推進の中心的な担い手である社会福祉協議会と連携とありますが、中間見直しを検討されたのかお伺いします。

町長：福祉や地域ボランティアに精通し、これまで理事を経験された方に就任していただきました。

理事においても各種団体をはじめとする、活動や奉仕の精神にあつい方々を任命し、町民主体にすることにより、福祉サービスのニーズへの対応や情報発信を、社会福祉協議会が自主的に活動できるようにいたしました。行政としては、これら組織のサポート体制を整えることにより、各種福祉サービスが、必要な方に必要なサービスを適切に提供でき、町民が幸せで、豊かな生活を送れるよう、町民主体の持続可能な「新たな福祉のまちづくり」実現に取り組んでいきます。